

2017 年春季年会

年会プログラム

於 九州大学

2017 年 3 月 15 日 (水) ~ 3 月 18 日 (土)

日本天文学会

日本天文学会 2017 年春季年会プログラム

期 日 2017年3月15日(水)～3月18日(土)

場 所 九州大学伊都キャンパス(福岡県福岡市)

電 話 090-4387-6893 <使用期間 2017年3月14日(火)～3月18日(土)>

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
3月15日 (水)	A	受付						S. 活動銀河核	特別 セッション	天文教育 フォーラム		理事会
	B							P2. 星・惑星				
	C							R. 銀 河				
	D							Q. 星 間 現 象				
	E							T. 銀 河 団				
	F							W2. コンパクト天体				
	G							K. 超新星爆発				
	H							U. 宇 宙 論				
	I							V3. 観測機器				
3月16日 (木)	A	受付	S. 活動銀河核	昼 休 み (代議員総会)	ポスター			S. 活動銀河核	懇親会			
	B							P2. 星・惑星				
	C							R. 銀 河				
	D							Q. 星 間 現 象				
	E							T. 銀 河 団				
	F							W2. コンパクト天体/Y. 教育他				
	G							K. 超新星爆発				
	H							U. 宇 宙 論				
	I							V3. 観測機器				
3月17日 (金)	A	受付	Z1. 超新星残骸	昼 休 み	ポスター			Z1. 超新星残骸	会員 全体集会	受賞記念講演		
	B		P2. 星・惑星/N. 恒星									
	C		M. 太 陽									
	D		Q. 星 間 現 象									
	E		V2. 観測機器									
	F		X. 銀河形成									
	G		P1. 星・惑星									
	H		W1. コンパクト天体									
	I		V3/V1. 観測機器									
3月18日 (土)	A	受付	Z1. 超新星残骸	昼 休 み	ポスター		特別 セッション					
	B		N. 恒 星									
	C		M. 太 陽									
	D		L. 太 陽 系									
	E		V2. 観測機器									
	F		X. 銀河形成									
	G		P1. 星・惑星									
	H		W1. コンパクト天体									
	I		V1. 観測機器									
	J		ジュニアセッション									

A 会場 : センター 2 号館 4F

B 会場 : センター 2 号館 4F

C 会場 : センター 2 号館 3F

D 会場 : センター 2 号館 3F

E 会場 : センター 2 号館 3F

F 会場 : センター 2 号館 3F

G 会場 : センター 2 号館 2F

H 会場 : センター 2 号館 2F

I 会場 : センター 2 号館 2F

J 会場 : 椎木講堂

受 付 : センター 2 号館 1F

ポスター会場 : 椎木講堂

展示コーナー : センター 2 号館

懇 親 会 : 川端商店街

◎講演数

講演数：合計 652

(口頭講演 (a)：458、ポスター講演 (b)：154、ポスター講演 (c)：40)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

2011年秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただく事になっています。

2016年秋季年会より、通常セッションにおける講演は会員に限られています。

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し講演ありの場合、参加費は無料)		
講演登録費	3,000 円 (不課税)	10,000 円 (消費税込み、企画セッション) (1 講演につき)
(但し事前支払がない場合は、会員 4,000 円、非会員 11,000 円)		
年会予稿集	2,000 円 (消費税込み)	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付

○参加登録受付時間：3月15日 11:00～16:00

3月16日 09:00～16:00

3月17日 09:00～16:00

3月18日 09:00～13:30

※参加費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費の返金はいたしません。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は9会場で並行して行います。口頭講演(添字 a)は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演(添字 b)は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字 b)、(添字 c)は、3月15日の12:00から3月18日の13:30までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦180cm×横90cmです。
3. 講演には液晶プロジェクターをご使用ください。液晶プロジェクターは、セッション開始前にPCの接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中にPCを接続しておいてください。

◎会期中の行事

月日	時間	会場	行事名
3月15日 (水)	15:15～16:15	A会場	PASJ 特別セッション
	16:30～18:00	A会場	天文教育フォーラム
3月16日 (木)	18:30～	川端商店街	懇親会
3月17日 (金)	15:45～16:45	A会場	会員全体集会
	16:45～18:15	A会場	受賞記念講演
3月18日 (土)	13:30～14:30	A会場	X線天文衛星計画特別セッション

◎会合一覧表

月日	時間	会場	会合名	一般参加可否
3月15日 (水)	18:15～19:15	会議室	理事会	D
3月16日 (木)	11:30～12:30	A会場	代議員総会	D
	11:30～12:30	B会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
	11:30～12:30	C会場	太陽研究者連絡会・運営委員会	D
	11:30～12:30	D会場	CAP2018@福岡キックオフ・ミーティング	B
	11:30～12:30	E会場	宇宙電波懇談会総会	C
	11:30～12:30	G会場	内地留学奨学金選考委員会	D
	11:30～12:30	I会場	高エネルギー宇宙物理連絡会報告会	B
3月17日 (金)	11:30～12:30	A会場	太陽研究者連絡会・報告会	C
	11:30～12:30	B会場	国立天文台の運用する天文シミュレーション用計算機のリプレイスに関する状況報告	B
	11:30～12:30	E会場	天文・天体物理若手の会総会	C
	11:30～12:30	G会場	SKA-Japan 定期会合	A
	11:30～12:30	H会場	光学赤外線天文連絡会総会	C
3月18日 (土)	11:30～12:30	A会場	女性天文学研究者の会ランチミーティング	A

※一般参加可否の説明（オープン化の程度）

- A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

◎「PASJ 論文執筆セミナー」 - これであなたも PASJ に投稿したくなる -

日 時：2017年3月15日(水) 15:15～16:15

場 所：A会場

概 要：より多くの皆様に PASJ で研究成果を発表していただけるよう、本セミナーを開催します。まず、特に若手の方を念頭に置き、論文執筆の指導経験の豊富な理化学研究所の牧島一夫さんに「受理される英文論文の書き方」について講演していただきます。続いて、多くの論文を PASJ に発表している東京大学の戸谷友則さんに、PASJ に投稿する意義を話していただきます。最後に、PASJ を選ぶメリットをご紹介します。PASJ には、日本語による「投稿の手引き」、英文校閲サービス、優れた論文の表彰(欧文研究報告論文賞)、実は迅速な掲載など、多くの魅力があります。皆様、特に若手の方のご来場をお待ちしています。

プログラム：1. 受理される英文論文の書き方(牧島一夫)
2. 私が PASJ に投稿する理由(戸谷友則)
3. PASJ を選ぶメリット(嶋作一大)

世 話 人：嶋作一大(PASJ 編集長)、嶺重慎(PASJ 編集顧問幹事)

◎天文教育フォーラム：「ジュニアセッションのこれまでとこれから～20回記念に向けて」

共催：天文教育普及研究会

日 時：2017年3月15日(水) 16:30～18:00

場 所：A会場

概 要：日本天文学会2000年春季年会よりスタートした天文学会のジュニアセッションも、2017年春季年会での開催で19回目となり、2018年には20回の節目を迎えることとなりました。この間、多くの中学生・高校生がジュニアセッションの舞台上で研究成果を発表し、ときにはプロ顔負けの素晴らしい成果も発表されてきました。また、海外からも多くの発表者が参加するようになり、国内外を問わず天文好き中高生の交流の場としても大きな役割を担ってきています。しかし、近年では参加者数も増え、発表申し込み件数も100件に届く勢いであり、会場・予算・時間の確保などが難しくなってきたのも事実です。

そこで、今回の天文教育フォーラムでは、今後のジュニアセッションのあり方について、広く学会員間で意見を交換する場を提供したいと思います。20回の節目を前に、ジュニアセッションに関して開かれた場で総括し、今後の運営に関する議論をできればと考えています。従来より生徒の活動に関心をお持ちの方はもちろんのこと、いままでジュニアセッションにご参加頂いたことのない方も、これを機にジュニアセッションのあり方や、学会員としての関わり方についてご一考頂ければ幸いです。

話題提供：吉川真(JAXA)「ジュニアセッションの経緯と現状」
内海洋介(広島大学)「ジュニアセッションの意義～OBOGの立場から」
西村昌能(元洛東高校)「ジュニアセッションの意義～指導者の立場から」
松川宏(青山学院大学)「他学会のジュニアセッション実施例」

費 用：天文教育フォーラムのみの参加費は不要です。天文学会年会受付で、その旨お伝えください。

実行委員：鴈野重之、亀谷和久、中申孝志、金光理、大山真満、木村かおる

◎ X線天文衛星計画の概要 - 「ひとみ」と「X線天文衛星代替機」

日 時：2017年3月18日（土）13：30～14：30

場 所：A会場

概 要：2016年2月17日に打ち上げられたX線天文衛星ASTRO-H（ひとみ）は、立ち上げ運用と初期観測の途中、3月26日に通信が途絶し運用を断念するに至った。その後、JAXAによる事故調査がおこなわれ、原因の究明とともに、こうした事故を起こさないためのプロジェクト体制の改革の方策が示された。一方で「ひとみ」が得た初期観測データは、精力的に解析され、その一部はすでに公表されている。10月からは、「ひとみ」プロジェクト終了審査が行われ、計画全体について詳細な報告と審査が行われている。日米のX線天文コミュニティとJAXA、およびNASAは、「ひとみ」がもたらすと期待されていた新しいX線観測の一部を早急に回復するために、再製作するX線マイクロカロリメータを中心とし、2020年度打ち上げを目指した「X線天文衛星代替機」の計画を進めようとしている。本特別セッションでは、「ひとみ」の成果、異常事象のまとめと、代替機の計画概要について、関係者からの報告を中心に紹介する。

プログラム：

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 「ASTRO-Hの終了と得られた教訓について」 | 久保田孝 (ISAS/JAXA) |
| 2. 「ひとみ衛星初期観測の成果について」 | 大橋隆哉 (首都大) |
| 3. 「X線天文衛星代替機で目指すサイエンス」 | 田代信 (埼玉大) |
| 4. 「X線天文衛星代替機の提案と準備状況」 | 前島弘則 (ISAS/JAXA) |

世話人：田代信 (高エネルギー宇宙物理連絡会・運営委員長)

◎進路相談コーナー

日 時：2017年3月16日（木）、17日（金） 11:30～13:30

場 所：椎木講堂

概 要：大学院生及びポストドク研究員のみなさん、日々研究を進めるなかで将来について迷いや相談したいことがあったりしませんか。キャリア支援委員会ではそのような皆さんの進路選択の一助になればと、進路相談コーナーを開催します。

相談役には、大学や研究所などのいわゆるアカデミックポジション以外の道を選び、天文学とその周辺分野で学んだことを活かして社会のさまざまな場で活躍する先輩方を中心にお招きする予定です。お昼ご飯を持ち込んでの相談も可です。ぜひ足を運んでみませんか？もちろん相談内容に関する個人情報や秘密は厳守されます。

なお、アドバイザーの出身分野や現在の仕事の内容については、決まり次第 Tennet にて案内します（当日、会場でもご案内します）。

主 催：日本天文学会キャリア支援委員会

◎日本天文学会公開講演会：「アニメ・SF・天文学」

日 時：2017年3月19日(日) 13:30～16:30
 場 所：エルガーホール8階大ホール(地下鉄七隈線天神南駅すぐ)
 対 象：中学生以上, 一般向け

概 要：近年、アニメやマンガは日本の文化の一部として広く受け入れられるようになってきています。その中でも、とくにSFを題材としたものは、宇宙や天文学から大きなインスピレーションを受けているものも少なくありません。逆に、アニメやマンガから宇宙への興味を抱き始め、研究の道に進んだ天文学者も少なくないでしょう。今回の公開講演会では、第一線で活躍されているクリエイターの方々に、天文学とSFの相互作用について語り合ってください。

第一部 基調講演

「マンガの見る未来はどこまで現実と一致するか？」 竹宮恵子氏(漫画家、京都精華大学学長)
 「いまそこにある宇宙(セカイ)-アニメーションにおける宇宙観の変遷-」
 出淵裕氏(アニメーション監督、脚本、デザイナー、イラストレーター、漫画家)
 「天文学者が見る夢はどこまで実現したか？」 半田利弘氏(鹿児島大学教授、日本天文学会副会長)

第二部 パネルディスカッション

総合司会 山岡均氏(国立天文台広報室長、日本天文学会教育理事)

申 込：入場無料, 参加申し込み不要です。

正会員展示

◎宇宙科学データアーカイブ DARTS

日 時：天文学会期間内
 場 所：センター2号館
 概 要：宇宙航空研究開発機構では宇宙科学データのアーカイブサイト DARTS を運営しています。DARTS は天文学、太陽物理学のみならず、月惑星科学、太陽地球物理学や微小重力科学などの多岐にわたる分野の宇宙科学データを公開しています。天文学ではX線天文衛星「ぎんが」、「あすか」、「すざく」、赤外線天文衛星「IRTS」、「あかり」、電波天文衛星「はるか」、太陽物理学では太陽観測衛星「ようこう」、「ひので」のデータがあります。それぞれのデータについて、長期保管を目的として、データのみならずドキュメント・解析プログラムなどの整備も進めており、時代が経過しても過去のデータの解析ができるように配慮しています。
 また、目的のデータを見つけやすくする検索システムやクイックルック(早見)アプリケーションを公開しています。これらのアプリケーションは、研究利用を念頭としていますが、大学学部レベルの教育や高校教育や初等教育へも応用されています。
 本展示では、DARTS の紹介、ウェブサイトやアプリケーションのデモンストレーションを行い、最新のDARTSを見ていただくとともに、皆様のご意見やご要望などのフィードバックを伺いたいと考えております。DARTSをご存知の方も知らなかった方も、以前使っていた方も今使っている方も、ぜひ本ブースへいらしてください。

世 話 人：海老沢研 (JAXA/ISAS) ebisawa.ken@jaxa.jp
 菅原泰晴 (JAXA/ISAS) sugawara.yasuharu@jaxa.jp
 殿岡英顕 (JAXA/ISAS) tonooka.hideaki@jaxa.jp

正会員展示

◎ JVO ALMA FITS データ公開システム

日 時 : 天文学会期間内

場 所 : センター 2 号館

概 要 : 世界最大の電波望遠鏡 ALMA が産み出す観測データは、観測提案者がデータを受け取ってから一年後には、誰もが利用できる公開データとして配信されている。データは ALMA 地域センターにより運営されている Science Portal より取得できる他、Japanese Virtual Observaotry (JVO) Portal から FITS データの取得が可能である。

ALMA のデータは観測方法によっては一つの観測天体に対し数 TB にも達することが想定され、全データをインターネット経由でダウンロードすることは非常に困難である。JVO Portal は、こうした巨大なデータのうち、利用者が必要とする空間・周波数領域の部分データのみを、場合によっては空間・波長分解能を落としてダウンロードする機能を提供する。

この目的のため、ALMA WebQL といったウェブブラウザ上でデータを可視化し必要なデータ領域を指定できる Web アプリケーションや、データをダウンロード後に詳細に ALMA の四次元データキューブを可視化するアプリケーション Vissage の開発を行っている。

本展示では、多くの方々に本システムの存在を知って頂き、ALMA のアーカイブデータを今後の天文学研究に活用して頂くことを目的として、その利用方法などの紹介を行う。

世 話 人 : 白崎裕治 (国立天文台) yuji.shirasaki@nao.ac.jp

川崎渉 (国立天文台) wataru.kawasaki@nao.ac.jp

大石雅寿 (国立天文台) masatoshi.ohishi@nao.ac.jp

正会員展示

◎ CAP2018 @福岡 presenting by OAO

日 時 : 天文学会期間内

場 所 : センター 2 号館

概 要 : 国際天文学連合 (IAU) の国際会議 CAP (Communicating Astronomy with the Public) 2018 については、立候補地多数のため国際選考が行われ、2017 年 10 月にオープンする福岡市科学館において、2018 年 3 月 24-28 日に日本で初めて開催することが決定した。同会議は 7 回目の開催であり、アジアでは 2011 年北京に次いで 2 回目となる。

CAP は、天文・宇宙に関する知見を市民に伝えるための研究や実践について情報交換するための会議で、人々との科学コミュニケーションを促進するための試みとして、学生や一般市民でも参加できるようオープン化されていることが特徴で、全体講演、分科会・ワークショップ、市民向けイベントなどで構成されている。

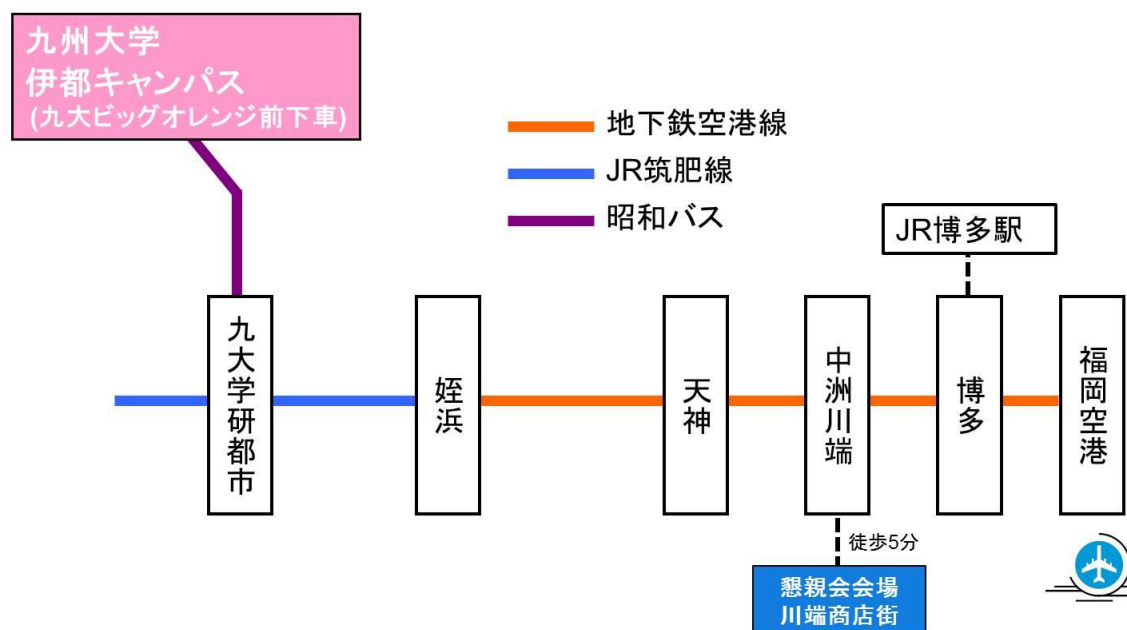
本ブースにおいては、CAP の歴史や意義、成果を紹介するとともに、CAP2018 福岡大会の詳しい内容や参加することのメリット等を紹介する。さらに、本会議の議長を務める IAU・OAO 室の活動や IAU コミッション C2 の紹介等も展示・解説する予定。年会期間中は C2 プレジデントや CAP 議長ら IAU メンバーが皆さんのお越しを展示ブースにてお待ちしております。年会中にキックオフ・イベントも実施予定。

世 話 人 : 縣秀彦 (国立天文台 OAO 室) h.agata@nao.ac.jp

山岡均 (国立天文台天文情報センター) hitoshi.yamaoka@nao.ac.jp

鷹野重之 (九州産業大学) shige.karino@gmail.com

春季年会会場 九州大学伊都キャンパスのご案内



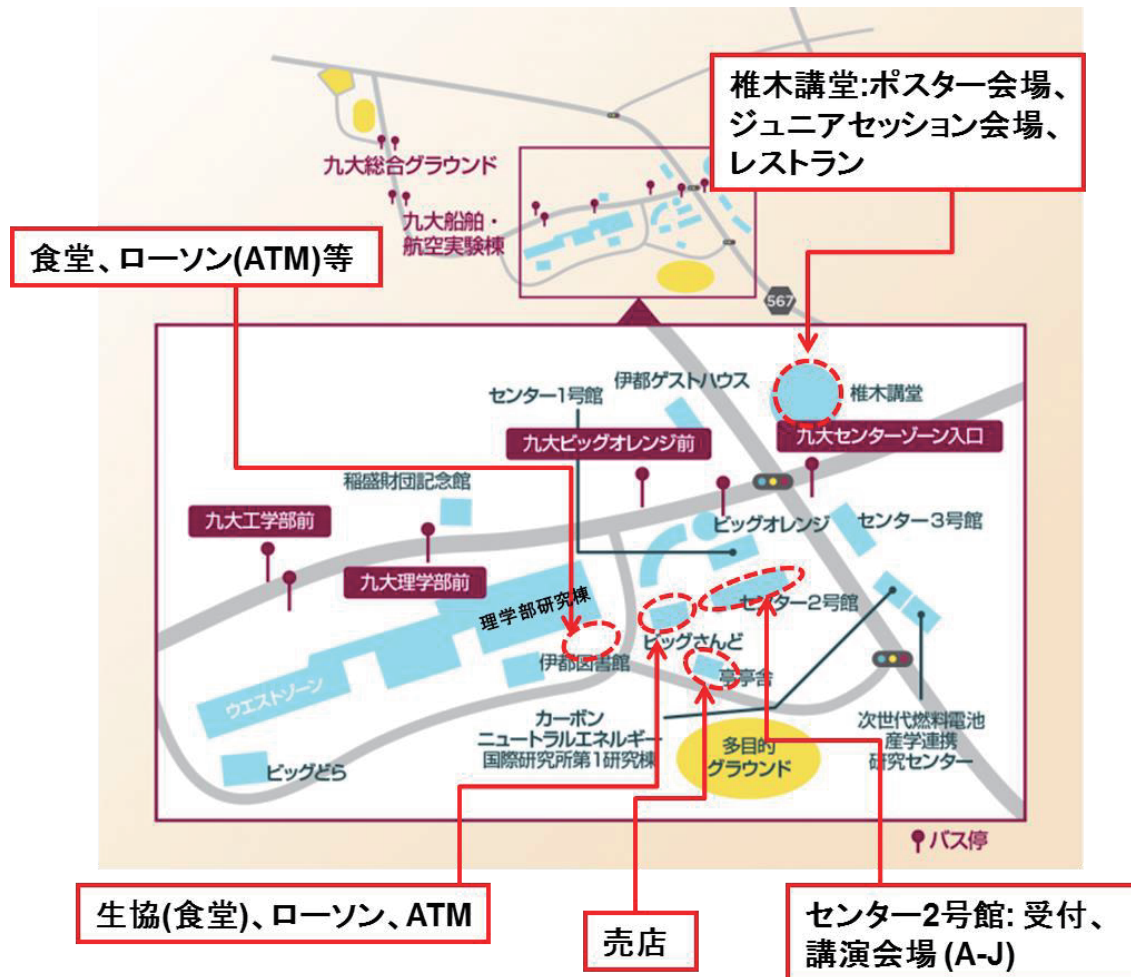
アクセス

- ・福岡空港駅から地下鉄空港線・JR 筑肥線で九大学研都市下車 約 45 分
- ・JR 博多駅から地下鉄空港線・JR 筑肥線で九大学研都市下車 約 30 分
- ・福岡空港、JR 博多駅どちらの利用者も姪浜・西新行き以外の電車は九大学研都市まで直通、姪浜・西新行きの電車は姪浜で唐津方面(唐津行き、西唐津行き、筑前深江行き、筑前前原行き)に乗り換え
- ・九大学研都市からは昭和バスで九大ビッグオレンジ前下車 約 30 分
(バスは渋滞のため時刻表より時間がかかる場合があります)
- ・西鉄福岡駅、天神バスセンターから西鉄バスで九大伊都キャンパス行きのバスもありますが、当日は大変な混雑が予想されるため、九大学研都市から昭和バスを利用することをお勧めします(バスターミナルを経由する都合上バスの増便が出来ません)。
- ・懇親会会場は、地下鉄空港線中洲川端駅の 5 番出口から徒歩 5 分の「川端商店街」で開催します。

九州大学伊都キャンパスへのアクセスは以下の HP もご参照下さい。

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/>

九州大学伊都キャンパスマップ



キャンパス内は全面禁煙です。喫煙は指定の場所をお願いいたします。

年会受付までは、九大ビッグオレンジ前下車徒歩2分です。

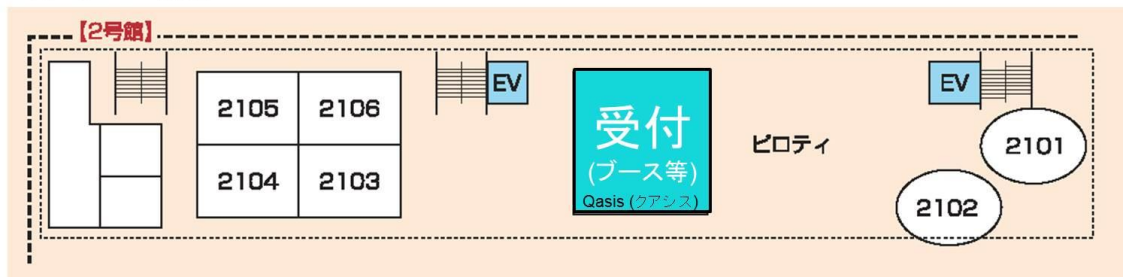
無線LANはeduroamのアカウントで接続可能です。eduroam参加機関であれば取得できますので、あらかじめ取得をお願いします。eduroam参加機関以外で無線LANが必要な参加者は受付でご相談下さい。

会場のセンター2号館隣にあるビッグさんどには、ローソンがあります。また、ATMは理学部研究棟前のローソン内、ビッグさんどと売店餃餃舎店内にあります。伊都キャンパス内の食堂などについては以下もご参照下さい(春休み中ですので営業していない場合があります)

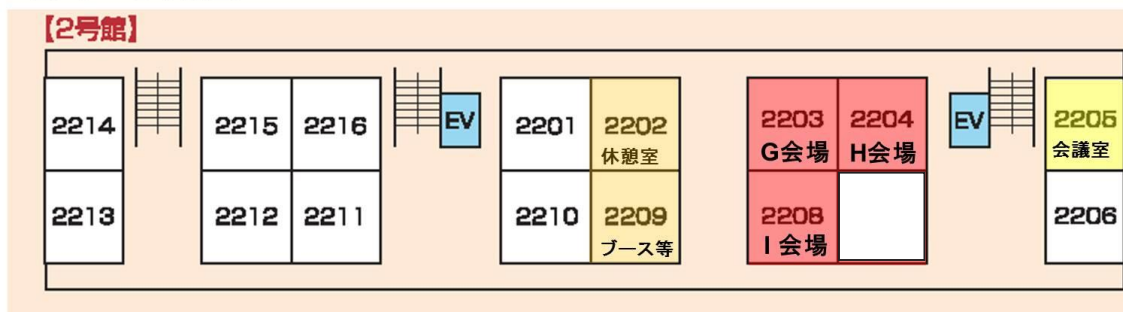
http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/ito_info/seikatsu.html

会場案内図

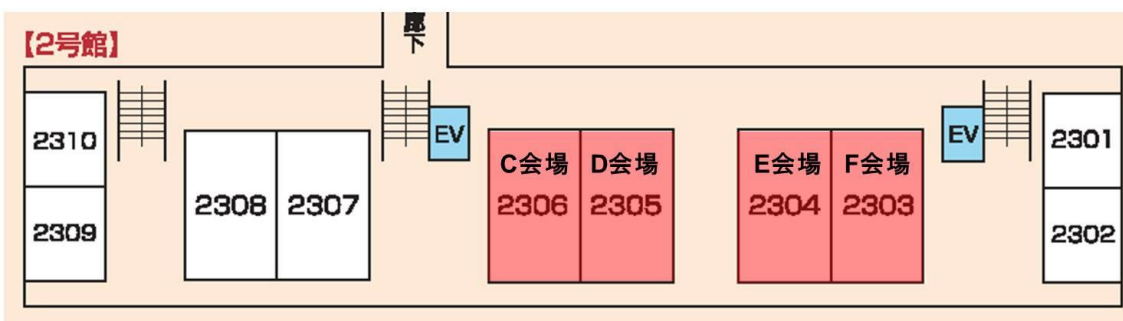
センター2号館1F



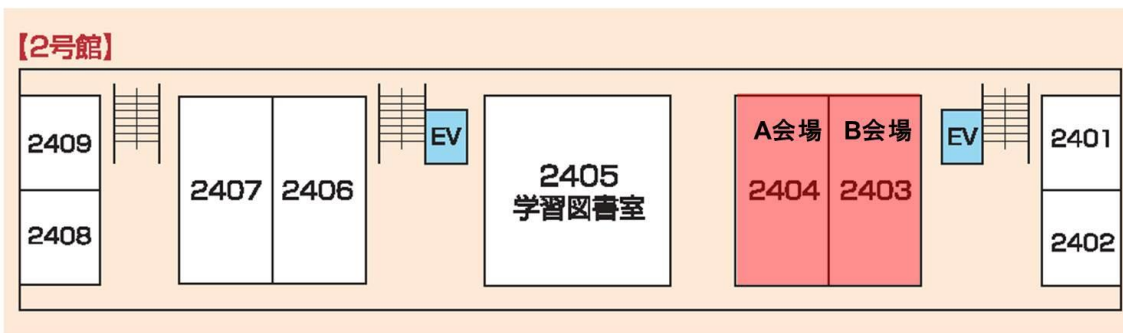
センター2号館2F



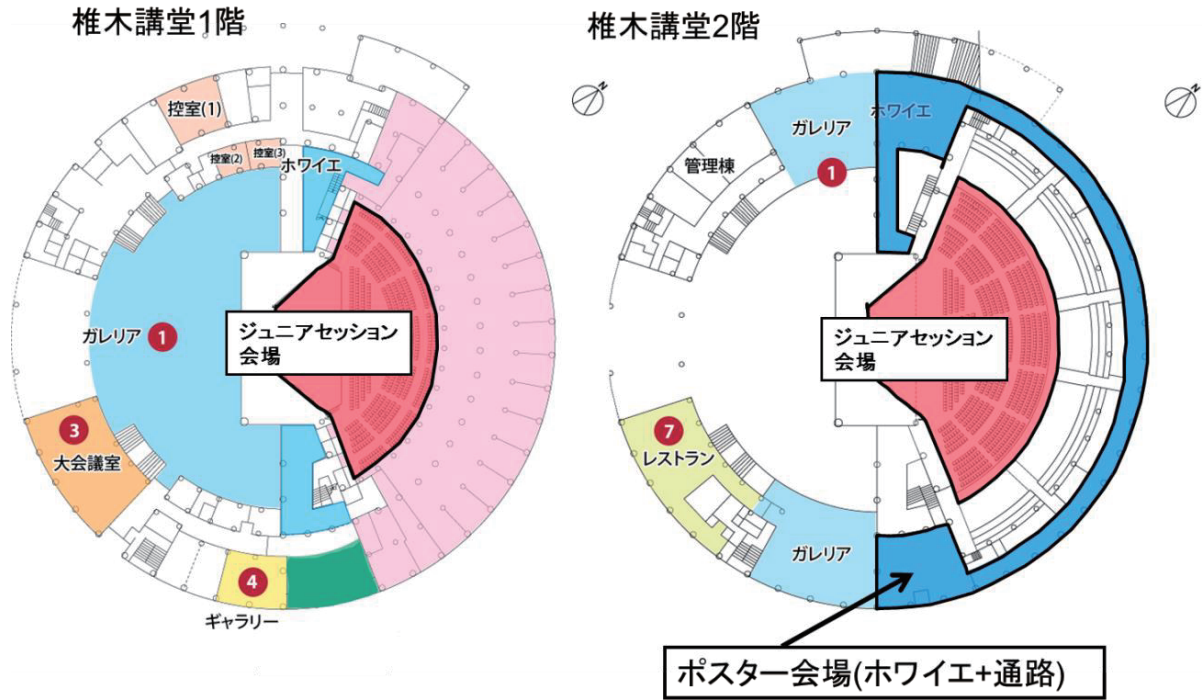
センター2号館3F



センター2号館4F



椎木講堂



福岡観光コンベンションビューローアプリ情報：

九大伊都キャンパスへのアクセス、グルメ、観光情報など

ようこそ、福岡へ 快適な旅をサポート “オールインワン”の便利なアプリが誕生！

Meeting Place Fukuoka

- アクセス** 地下鉄の乗り方は？
- グルメ** ラーメン屋さんはどこですか？
- 観光** 神社、寺院 などの観光名所
- ネットワーク** アクセスポイントの情報
- クーポン** 割引クーポン など

今すぐダウンロード

Meeting Place Fukuoka

福岡市 FUKUOKA CITY

FUKUOKA NEXT

FCVB 福岡観光コンベンションビューロー